※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　(学)国際文化科

教科	(学)国際文化	科目	(学)中国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	標準　高校中国語　第３版　（白帝社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で、学んだ基礎知識を積極的に取り込む、自ら発表する。
・ノートを用意して、教科書以外の補充内容を記入し、応用出来るようにする。
・デジタル機器を用いて、中国語と日本語の相違点を調べる。

2　学習の到達目標

・中国語のピンイン、声調、発音及び基礎的知識や文法事項を理解し、初歩的な会話や文章を理解し、活用できるようになる。
・家族構成、趣味など簡単な自己紹介文の作成、発表が出来る。
・中国語の文化習慣と日本語の違いなども含め、色々な事柄から学ぶ。
・中国の人と相互理解を深めるために、中国語によるコミュニケーション能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ ピンイン、声調、発音を反復練習し、その技能を身につけている。 ・ 学んだ中国語の発音を反復練習し、確認している。	学んだ基礎知識を応用し、会話の文を作成し、表現できている。	2 人やグループで取り込み発表をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	発音～第４課	・授業時、必要な挨拶文を学び応用する ・ピンイン、声調、発音の反復練習する ・“是”“不是”を用いた名詞述語文“不”の声調変化 “也”副詞の使い方	a:耳から入った中国語を正しく発音することができる b:反復練習し、できようになる c:	定期考査 確認テスト	定期考査 発表する	提出ノート 発表する
	第5.課～第7.課	・反復疑問文 ・疑問詞“什么”を用いた文を作成する ・所有、所属を表す“的”の使い方	a:正しく文を作成、正しい発音できる。 b:文を作成し、理解できる。 c:内容が理解できる。	定期考査 確認テスト	定期考査 文を作成し、発表する	提出ノート 発表する
後期	第８課～第１０課	・動詞が述語となる文 ・形容詞が述語となる文 ・数字 ・所有を表す“有”用いた文の作成	a:正しく文を作成、正しい発音できる。 b:文を作成し、理解できる。 c:内容が理解できる。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表する	提出ノート 発表する
	第１０課～第１３課	・動詞の後ろに“一下”用いた文を作成 ・“一”の声調の変化 ・助数詞、動詞の重ね型 ・数を尋ねる疑問詞“几”“多少”を用いた文の作成及び違い	a:正しく文を作成、正しい発音できる。 b:文を作成し、理解できる。 c:内容が理解できる。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表する	
			a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度